

平成22年第3回八千代町議会定例会会議録（第4号）

平成22年9月15日（水曜日）午前9時05分開議

本日の出席議員

議長（4番）	生井 和巳君	副議長（2番）	上野 政男君
1番	大久保弘子君	3番	中山 勝三君
5番	相沢 政信君	6番	大久保 武君
7番	水垣 正弘君	8番	矢中 召二君
9番	小島 由久君	10番	稲葉 常美君
12番	宮本 直志君	13番	大久保敏夫君
14番	湯本 直君		

本日の欠席議員

11番 小竹 徳市君

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	澤木 薫君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	渡辺 常雄君
秘 書 課 長	生井 光男君	総 務 課 長	稲村 信義君
企画財政課長	風見 好信君	税 務 課 長	青木 良夫君
町 民 課 長	浜名 進君	福祉保健課長	関 好太郎君
生活環境課長	飯島 正男君	産業振興課長	瀬崎 始君
都市建設課長	飯島 英男君	上下水道課長	生井 勝巳君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	水垣 進君	教 育 次 長 兼 学校教育課長	斉藤 実君
公 民 館 長 兼 生涯学習課長	上野 林作君	給食センター 所 長	荒井 健雄君
総 務 課 参 事	水書 正義君	企画財政課長 補 佐 兼 財 政 係 長	鈴木 忠君

議会事務局の出席者

議会事務局長 猪瀬 誠 係 長 小林 由実
主 幹 岩坂 信幸

議長（生井和巳君）引き続きご参集くださいまして、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第4号）

平成22年9月15日（水）午前9時開議

日程第1 認定第1号 平成21年度八千代町歳入歳出決算の認定について

認定第2号 平成21年度八千代町水道事業決算の認定について

（各常任委員長報告、審議、採決）

日程第2 議員派遣の件

日程第3 閉会中の継続調査の件

閉 会

日程第1 認定第1号 平成21年度八千代町歳入歳出決算の認定について

認定第2号 平成21年度八千代町水道事業決算の認定について

議長（生井和巳君） 日程第1、認定第1号 平成21年度八千代町歳入歳出決算の認定について、認定第2号 平成21年度八千代町水道事業決算の認定についてを一括議題といたします。

本件につきましては、去る9月8日の本会議において関係常任委員会に付託してありますので、各常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

初めに、総務常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

矢中総務常任委員長。

（総務常任委員長 矢中召二君登壇）

総務常任委員長（矢中召二君） ただいま議長の許可をいただきましたので、総務常任

委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、認定第1号中、平成21年度一般会計決算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、民生費の一部、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費であります。

当委員会は、委員4名出席のもと、去る9月10日午後1時半から第5会議室において、町執行部より副町長及び関係課長等の出席を求め、それぞれ担当課長などから詳細に説明を受け、慎重に審議をいたしました。

その結果、認定第1号中、平成21年度一般会計決算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、民生費の一部、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費については、すべてが適正に執行されていることを認め、全会一致で認定することに決定いたしました。

以上、総務常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げますが、議員各位のご賛同をお願い申し上げまして、報告といたします。よろしく願いいたします。

議長（生井和巳君） 次に、教育民生常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

湯本教育民生常任委員長。

（教育民生常任委員長 湯本 直君登壇）

教育民生常任委員長（湯本 直君） 議長のご指名がございましたので、教育民生常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告いたします。

当委員会に付託されました案件は、認定第1号中、一般会計決算の歳出の民生費、衛生費、教育費、総務費の一部、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算についてであります。

当委員会は、委員5名出席のもと、9月10日午前9時30分から役場4階第6会議室において、関係課長等の出席を求め、各項目ごとに担当課長等から詳細に説明を受け、慎重に審議をいたしました。

その結果、認定第1号中、一般会計決算の歳出の民生費、衛生費、教育費、総務費の一部及び国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算については、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定をいたしました。

以上、教育民生常任委員会に付託されました案件に対する審議の経過と結果についてご報告を申し上げましたが、議員各位のご賛同をお願い申し上げまして、以上、報告といたします。

議長（生井和巳君） 次に、産業建設常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

大久保産業建設常任委員長。

（産業建設常任委員長 大久保 武君登壇）

産業建設常任委員長（大久保 武君） ただいま議長の指名がありましたので、産業建設常任委員会の審議の経過と結果についてご報告申し上げます。

当委員会に付託された案件は、認定第1号中、一般会計決算歳出の労働費、農林業費、商工費、土木費及び八千代町農業集落排水事業特別会計決算、八千代中央土地地区画整理事業特別会計決算、八千代町下水道事業特別会計決算並びに認定第2号、八千代町水道事業決算についてであります。

当委員会は、9月10日午後1時半より役場4階第7会議室において、委員4名並びに町執行部より産業振興課長、農業委員会事務局長、都市建設課長、上下水道課長、産業振興課参事、都市建設課参事、上下水道課参事の出席を求めて開催いたしました。

決算資料に基づき、それぞれ担当課長から各項目について詳細な説明を受け、慎重に審議した結果、認定第1号中、一般会計決算歳出の労働費、農林業費、商工費、土木費及び八千代町農業集落排水事業特別会計決算、八千代中央土地地区画整理事業特別会計決算、八千代町下水道事業特別会計決算並びに認定第2号、八千代町水道事業決算については、全会一致で認定することに決定いたしました。

以上、産業建設常任委員会に付託された案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げますが、議員各位のご賛同をくださいますようお願い申し上げまして、報告といたします。

議長（生井和巳君） 以上で各常任委員長の報告を終わります。

これより各委員長報告に対する質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

1 番、大久保弘子君。

(1 番 大久保弘子君登壇)

1 番（大久保弘子君） ただいま議長より許可をいただきましたので、平成21年度決算一般会計歳入歳出についての反対討論を行いたいと思います。

初めに、歳入についてですが、前政権、とりわけ小泉内閣のもとで進められた構造改革路線によって雇用の破壊、社会保障の破壊、地域経済の破壊が進行しました。これに対する国民の怒りの爆発が、昨年の総選挙で自公政権にノーの審判を下し、新政権が誕生しました。しかし、生活保護の母子加算復活、高校授業料の実質無償化など、一定の前進はあったものの、当初の公約は次々と破り、経済危機の打開にはほど遠いものがあります。

このような中で地方交付税は、わずかに増になっているものの、町税などの税収は全体で約1億2,000万円も減になっております。定額給付金や国の臨時交付金など、交付金、補助金以外では、平成20年度に比べ、ほとんどが減額になっており、地域経済が大きく落ち込んでいることを物語っています。

平成21年度決算の国庫支出金が、前年度比で229.8%と大きく増になりましたが、学校耐震補強及び大規模改修工事については、子供たちの安全、安心を守るということで、大きく前進しました。しかし、地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金補助金など、国の経済対策として多額の国債発行に伴う、いわゆるばらまき予算で、道路改修などは一定進みましたが、1回限りの予算であり、本当に町の活性化につながったのか疑問です。

歳出については、臨時交付金が活用され、教育費、農林業費、土木費などが大幅に増になっておりますが、本予算の歳出は平成20年度とほぼ変わらず、町民の暮らしや福祉に対する歳出は狭められております。また、平成20年度に比べ、約2倍の不用額1億8,548万5,796円となっており、特に総務管理費、土木費や教育費の中の工事請負費が大きな部分を占めております。1億8,000万円という不用額は大きいと思います。予算編成について、もっと深く分析し、障害者福祉や児童福祉など、社会的に弱い立場の方たちへの活用も工夫すべきではなかったかと思います。

公債費については、年々増加し、前年度比では0.7%の増となり、町の歳出全体の約1

割を占めております。住民サービスに対する歳出は、相変わらず削減の方向では、町民の暮らしはよくなりません。町の活性化も図れません。新政権においても、結局、前政権の路線を引き継ぐ形で、軍事費はさらにふやし、法人税減税、証券優遇税制など、大企業や大金持ち優先の路線は少しも変わっていません。前政権の構造改革路線と決別しておらず、効率化や規制緩和などを優先して、国民に負担を押しつける方針では、国民の暮らしはよくなりません。

このような国の路線が、町の財政の中にもあらわれているということが言えます。国の路線をそのまま推進する立場からの決算内容ですので、反対をいたします。

次に、国民健康保険特別会計の反対討論です。国保会計では、1980年代に国保の総収入に占める国庫支出金の割合が50%だったのが2007年度は25%となっています。国の補助を大幅に減らしたため、その分保険料負担として国民に転嫁されました。そのため国保税が高騰し、支払い能力を超える国保税に住民が悲鳴を上げています。滞納世帯は約2割に上り、国保税高騰、滞納者増、財政悪化、保険税高騰といった悪循環が起こっています。

高い国保税で多くの町民は苦しんでいるのに、平成21年度の国保会計では2億8,534万3,000円の黒字決算、1億円の積み立てもしました。一方では、滞納額が過年度からの累計で3億1,653万6,731円と増加しています。いかに国保税が高いかがわかります。国保料の引き下げを求めて、この会計内容には反対をいたします。

次に、介護保険特別会計について述べたいと思います。国保会計と同じようなことが言えます。前政権の構造改革路線、骨太の方針によって社会保障費が毎年2,200億円ずつ削減され続けてきた結果、地方にも大きなしわ寄せが来ました。新政権に移行後も平成21年度はそのままの路線で引き継がれ、一部介護報酬の補助率の引き上げがありましたが、十分でなく、これまでの施設などの赤字経営の穴埋めに使われ、介護労働者の賃金アップにはつながらなかったと聞きます。

介護従事者の労働条件は厳しく、労働者の入れかわりが常態化しています。利用者にとっては高い保険料と利用料で十分な介護が受けにくくなっています。入所を希望しても老健施設など公共の施設が少なく、待機者も増加する状況です。これまでの構造改革路線を引き継ぐ形での新政権の方針に基づく会計内容ですので、反対をいたします。

次に、後期高齢者医療特別会計について述べたいと思います。高齢者を75歳という年齢で線引きして差別する制度で、高齢者の医療切り捨てをねらったもので、小泉構造改

革路線による社会保障改悪の象徴とも言うべき制度です。新規政権は、当初のマニフェストで廃止すると明記していましたが、現政権中は、この制度を温存することにしてしまいました。この制度は、2年ごとに値上げされる仕組みになっており、今年4月から値上げになった県も多いということです。茨城県広域連合は、多くの県民の要求で値上げを踏みとどまりましたが、この制度がある限り、高齢者の負担はふえていきます。

平成21年度の決算でも、この制度がスタートして2年で普通徴収の滞納額が現年度分と繰り越し分で192万7,700円となっております。75歳以上の高齢者を別枠でくくり、高い保険料と窓口負担を強いるもので、高齢者を医療から締め出す、この会計には反対をいたします。

以上で反対討論を終わります。

議長（生井和巳君） 次に、賛成者の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） ほかに討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） これで討論を終わります。

これから採決をいたします。

この採決は起立により行います。

最初に、認定第1号を採決いたします。

認定第1号 平成21年度八千代町歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

（起立多数）

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、認定第1号 平成21年度八千代町歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、認定第2号を採決いたします。

認定第2号 平成21年度八千代町水道事業決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

（起立多数）

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、認定第2号 平成21年度八千代町水道事業決算の認定については、原案のと

おり認定することに決定いたしました。

日程第2 議員派遣の件

議長（生井和巳君） 日程第2、議員派遣の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第121条の規定により、お手元に配付のとおり決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、議員派遣の件につきましては、お手元に配付のとおり決定いたしました。

日程第3 閉会中の継続調査の件

議長（生井和巳君） 日程第3、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第75条の規定により、議会運営委員長より別紙のとおり報告がありましたので、委員長の報告のとおり閉会中の継続調査と決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり閉会中の継続調査と決定いたしました。

議長（生井和巳君） 以上で本定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。

ここで、町長よりあいさつしたい旨の申し出がありましたので、許可いたします。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） 平成22年八千代町議会第3回定例会の終了に当たりまして、一言御礼のあいさつをさせていただきます。

議員各位には、開会以来本日まで9日間にわたり、慎重なるご審議を賜り、まことにありがとうございました。本定例会の認定審査でございますが、130億9,200万円余りの認定をいただきました。さらに、各会計の予算を初め議案12件の重要案件につき議了いただき、厚く御礼申し上げます。また、町政発展のため、ご同慶の至りであります。

審議過程における慎重なるご意見、ご要望等につきましては、真摯に受けとめ、細部

の町政執行に当たりまして反映していく所存であります。

今後も第4次総合計画が揺るぎなく完成されますよう全力を傾注してまいります。

終わりに、議員各位の限りないご発展とご健勝、ご多幸をご祈念いたしまして、簡単ではありますが、御礼のあいさつにかえさせていただきます。まことにありがとうございました。

議長（生井和巳君） 閉会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

去る9月7日の開会以来、本日までの9日間にわたり、議員各位におかれましては慎重審議をいただき、本日をもって閉会の運びとなり、まことにありがとうございました。

町長初め執行部の方々におかれましても、審議に当たり終始ご協力いただき、ありがとうございました。

今回の審議の過程で各議員からの意見、要望等を十分に尊重され、今後の行政運営に反映されますよう強く要望いたします。

結びに、皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、平成22年第3回定例会を閉会いたします。

（午前 9時28分）

地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

議 長 生 井 和 巳

署 名 議 員 矢 中 召 二

署 名 議 員 小 島 由 久